

神戸新聞読者クラブ

奥さま手帳

毎月、兵庫を再発見。

2024年
8月号
NO.613

大人の
テーマパーク。

召ませビール。



ガラス張りの側面に「BE KOBE」のロゴが写真映える屋上デッキ。オープン午後11時まで。心地よい潮風を感じて、美しい夜景までたっぷり楽しんで。



展望3Fで
ほっと休憩

ドーナツ状のカウンター席から抜群の眺望を楽しめる展望3階のカフェ＆バー「レディーゴラウンド」。神戸ポートタワーを表現したパンケーキや、ハンバーガーなどの軽食を。写真右は、真っ赤なベリーの神戸ポートタワーパンケーキ1,200円。



低層3・4Fは
テラスで洋食を

低層3・4階のカフェ・レストラン＆バー「ポートテラス」では本格的な洋食、レトロなスイーツやドリンクを。プリンアラモード1,200円。要予約のアフタヌーンティー4,400円。タワーを真下から見上げられるテラス席がすてき。



3 価格は個別に注釈がない限り、税込み表記です。

大人のテーマパーク

撮影／エレファント・タカ 南平泰秀 本郷淳三
文／伊藤順子 井鍋横 平岩優里 牧野しのぶ
夏真っ盛り。話題もホットな兵庫のテーマパークを訪ねて海へ山へ。開発が進む神戸の海辺では、話題の「神戸ポートタワー」や「神戸須磨シーワールド」が大にぎわい。景色を見て、食べて、学んで、リラックスする1日を。

レトロでかわいくリニューアル 神戸ポートタワー

4月26日のリニューアルオープンから49日目に10万人の来場者を突破するなど、人気沸騰中の新生・神戸ポートタワー。話題のまとは、今回新設された地上約100mの屋上デッキ!「〈鉄塔の美女〉がティアラを乗せたよう」と表現される天井のないガラス張りの回廊から、沈む夕日や夜景がきらめく神戸の街と山、海が一望できて爽快だ。ぐるっと一周できる展望フロアや、〈光〉をテーマにした作品を楽しめるミュージアムのほか、入場無料の低層階にもレストランやショップが充実しているのがうれしい点!「久しぶり」と「初めまして」を満喫する大人の遠足やデートを楽しんで。

神戸市中央区波止場町5-5
※掲載不可
午前9時～午後11時(入場は午後10時30分まで。各階・店舗により営業時間は異なる) 展望フロア・屋上デッキ入場料/大人1,200円、小・中学生500円(低層フロアは無料) 無休 ②なし 道案内/電車→JR神戸線・阪神元町駅から南へ徒歩約15分 車→阪神高速神戸線京橋出口から西へ約5分

世界初のパイプ構造を誇り、電波塔でもテレビ塔でもなく独立した展望塔として1963(昭和38)年に誕生。鼓型の優美なプロポーションはそのままに耐震強度を高め、中身も一新!



無料で入れる地上1～4階(低層フロア)、有料エリアの高層1～5階(展望フロア)がある。展望2階には「フェリシモ」のショップ。低層2階には「ビームスジャパン」や地場産品を打ち出す「織(いこり)」のショップ。「神戸ザック」とデイリースポーツがコラボしたバッグも!



三木市の黒滝をイメージした滝が迫力満点の〈ローカルライフ〉、カラフルなサンゴ礁の〈トロピカルライフ〉など、自然環境を丁寧に再現した展示で生きものの生態や様子を観察することができる。マダコやイカナゴの兵庫らしい展示、自然光が注ぐ外洋水槽など時間を忘れて見入ってしまう。



臨場感
たっぷりの
大水槽



スマイ
時代からの
長老



無料で入館できる〈スマコレクション〉では〔神戸市立須磨海浜水族園〕で飼育されていた淡水魚や水族館の歴史を展示する。世界最高齢のロングノーズガー、愛称「ガーじい」も健在。

マゼランペンギン、ゴマフアザラシ、カリフォルニアアシカ、ウミガメなど海の人気者に出会える〈ロッキーライフ〉。3階で水中を泳ぐ様子を、4階では陸上で過ごす姿が見られる。



かわいい
海獣に
夢中に♡



「神戸紅茶やゴンチャロフなど地元企業とコラボしたオリジナルグッズも豊富です」と佐藤さん。大きなシャチのぬいぐるみもかわいい!

▷神戸市須磨区若宮町1-3-5 ☎078-731-7301
午前10時〜午後6時(入園は午後5時まで) 入場料/大人3,100円、4歳〜中学生1,800円、65歳以上2,500円 ※営業時間・料金は季節により異なる 不定休 ◎あり



道案内/電車→JR神戸線須磨海浜公園駅から南へ徒歩約5分 車→阪神高速神戸線湊川ICから国道2号線を西へ約6分



立ち寄り
は
〔松の杜ヴィレッジ〕へ!

BREAD FLAVOR ブレッドフレイバー

松林に囲まれた公園〔松の杜ヴィレッジ〕内の、焼きたてパンと食事が楽しめるカフェ。大きな窓の外には広場や須磨の海の景色が広がり、開放感抜群。BREAD FLAVOR PLATE2,300円は、選べるメインにパン食べ放題やフリースペース、ペット用エリアもある。

▷神戸市須磨区須磨浦通1-1-3 松の杜ヴィレッジA棟2F ☎070-1277-0630
午前11時〜午後8時(ラストオーダー) 無休 ◎あり



海辺のリゾートが誕生
神戸須磨シーワールド

表情豊かに泳ぐシャチが須磨海岸を背景にジャンプしたり、トレーナーを鼻先で運んだり、尾びれで客席に水を飛ばしたり! 今年6月に誕生した〔神戸須磨シーワールド〕は、シャチのパフォーマンスを目の前で鑑賞できる西日本唯一の施設。さらにスピーディな運動能力のイルカ、六甲水系の河川や瀬戸内海、鳴門の渦潮を再現した水槽など工夫を凝らした展示で「多様な環境や生きものとのつながりを楽しみながら学べる場所に」と広報の佐藤雄太さん。子どもも、長年愛された〈スマスイ〉を知る大人まで誰もが夢中に! 隣にはイルカとふれあえるホテル、カフェや遊具のある公園〔松の杜ヴィレッジ〕も。青松白砂の景観を活かして生まれ変わった須磨海浜公園で、新たな歴史を体感しよう。

西日本でここだけ!
愛らしいシャチに会いに



お母さんのステラと娘のラン、シャチ2頭が仲良く泳ぐ姿に思わず笑顔。骨格標本やデジタル展示で生態を学べる教育ゾーン(オルカラボ)。(オルカホール)のシアターでは知床のシャチの映像を鑑賞できる。シャチを眺めながら地産地消の料理が楽しめるbuffetレストラン(大人1人4,000円)は、水槽側の席が特等席!





壁一面の格言(?)が心に染みる。唯一無二の店づくりにファンが増加。「ずっと来たくて、やっと来られた」と隣県からのお客さんも取材中に到着!



根性焼1個200円。栃の実コーヒースセットで700円。「おばあ初恋の味」栃おはぎ1個350円。おにぎりセット700円などの食事も。

立ち寄り湯村温泉へ

遊月亭 おばあかふえ

牧場公園から車で15分。日本一熱い源泉を持つ湯村温泉では、地元の朗らかな「おばあ」が迎える喫茶店が人気だ。名物は地元の幸、とち餅と美方大納言小豆の粒あんをたっぷり入れた大判焼「根性焼」。「90になっても100になっても、焼ける限りは根性で焼くよ」と笑顔で立ち動く知子さん(右)、鈴子さん。壁には「人生ピークは90歳」「反省しないことが元気のひけつ」などの色紙がいっぱい。元気が出る。

▷美方郡新温泉町湯82-1
☎0796-85-8010(遊月亭) 午前10時～午後5時 火・木曜休、臨時休あり ©なし



地元和菓子処「遊月亭」の卒業生であり、平均年齢78歳のおばあたちが交代で店に立つ。おばあさんの活躍を支える店主の「ババ虎」と。



但馬牛のお母さんやお姉さん、赤ちゃんが暮らす牛舎を見学。人なつこく首を伸ばしてくれる牛を優しくなでても良い。愛らしい子ヤギやウサギ、モルモットにも癒やされて。

牛だけじゃない♡



お宿もある/



隣接する宿泊施設「まきばの宿」は放牧場や山々を眺められる部屋でリラックス。レストランは但馬牛料理が名物。甘辛くやわらかいお肉たっぷりの但馬牛の御重1,800円。ハンバーグ定食1,480円。宿泊者はしゃぶしゃぶやBBQを。



道案内/電車→JR山陰本線八鹿・浜坂駅から全但バス、湯村下車。タクシーに乗り換え約15分車→北近畿豊岡自動車道八鹿水ノ山ICから北西へ約60分



和牛のルーツを体感する里山へ
兵庫県立但馬牧場公園

広大な放牧場ではヤギやヒツジとふれあうことも。6～10月には愛宕山で但馬牛の昼夜放牧が行われる。のどかな景色の中でのんびり草を食べ、くつろぐ動物たちが見られて幸せ!



但馬牛を学ぶ体験は2025年大阪・関西万博に向けた文化体験「ひょうごフィールドバビリオン」のプレミア・プログラムにも選定されている。牛と暮らす昔の農家を再現したコーナーも。「9月第4日曜(9月22日)は恒例の但馬牛まつりで盛り上げます!」と嶋津悟園長(左)、博物館を案内してくれる「但馬牛博士」野田昌伸副館長。



平安時代の昔から、但馬の山間で人とともに生活し、育まれてきた但馬牛。険しい山々で田畑を耕し、荷運びして働く中で、小柄で引き締まった体、穏やかな気性の持ち主に。現在まで県内だけで交配を繰り返し、神戸ビーフも、松阪牛も、近江牛も、国産黒毛和牛の99.9%が但馬牛の子孫というからすごい。緑が濃い愛宕山(あたごやま)山麓に広がる「但馬牧場公園」は、牛舎や放牧場でのびのびと暮らす但馬牛を間近に眺め、ふれあえる貴重な場所。併設の「但馬牛博物館」では牛の戸籍の牛籍簿や、つる牛と呼ばれる家系図の展示で学ぶこともできる。純血の優れた血統を守り抜いてきた伝統的飼育法は、昨年、世界農業遺産にも認定された日本の宝!

▷美方郡新温泉町丹士1033
☎0796-92-2641(管理事務所)
☎0796-92-1005(食事・宿泊) 午前9時～午後5時(食事は午前10時～) 入館無料 木曜(祝日の場合翌日)休 ©200台

「今年も優勝してアレンバ(連覇)を」と祈願する人に授与される特製絵馬1,000円。ボール型お守り700円、夢ボールおみくじ500円など。100周年記念ロゴ入りの御朱印も!



今年もアツイ! 高校野球

米国ニューヨークにあった大球場を参考に日本初の本格的な野球場が誕生し、8月1日で100周年。全国の高校球児が憧れる「聖地」であり、昨年38年ぶりに日本一に輝いた〈阪神タイガース〉の本拠地。最寄り駅や球場への道もメモリアルイヤーを盛り上げる。まず球場を知るなら一昨年に改修し1.25倍の広さになった[甲子園歴史館]へ。高校野球の名勝負や歴史がわかる球場エリアと阪神タイガースがテーマのエリアはお宝いっぱい、野球少年も虎党も心踊る。「100周年記念グルメの販売や100年前のレシピを再現した生ビールなど。球場内や外周で多彩な企画を楽しんでください」と広報の樋渡太一さん(右)、木村直樹さん。来年は阪神タイガース球団設立90周年。ますます期待がふくらむ!



感動を再び! タイガース優勝



「歓喜のビクトリー」には昨年優勝時の貴重なお宝や映像も。[体験!タッチスタジアム]では選手が使った野球用具に触れる! 甲子園を再現したバーチャルバッティングセンターも(別料金)。



歴代優勝旗が目玉の[名勝負ギャラリー]では22の名勝負の記憶をたどる。出場校4,253のボールが並ぶ[ボールウォール]。宮瀬富之彫刻展「主役は君だ!!」(9/1まで)は敗者を題材に。「ドカベン」や「タッチ」が登場する[まんがと甲子園]も。

立ち寄り甲子園の氏神さん

甲子園素盞鳴神社

こうしえんすさのおじんじや

「400年以上前、暴れ川だった武庫川支流の氾濫を鎮めて村を守るために建立されたと伝わります」と宮司の畑中秀敏さん。球場ライトスタンドの真横にあり、「甲子園神社」とも呼ばれて、球場とともに歴史を刻んできた。「国内外から多くの野球ファンが参拝に来られます。今後も一緒に歩んでいきたい」と畑中さん。

▷西宮市甲子園町2-40 ☎0798-41-4556 午前9時〜午後4時 ㊟なし



いまだけの楽しみ 100周年

おいしく食べてお祝い!

球場内で食べられる「伝統・特別感・100」がテーマの100周年限定グルメ。九条ねぎと牛すじばっかが計100gものった「これぞ京阪神」なたこ焼きや、播州百日鶏をぜいたくに使った肉厚な油淋鶏炒飯など。お土産用の甲子園カレーは100周年を記念した特別パッケージに。



特別な見学ツアーも! 三塁ベンチやインタビュースペースなどガイドの解説付きで球場の裏側を見学できるスタジアムツアーが大人気。[スタジアム見学コース][タイガースコース]など。開催日程や詳細はホームページで確認。

100周年の夏が来た! 阪神甲子園球場



夏の青空に白い雲が似合うグラウンド。選手たちが活躍できるように整備された天然芝と黒土が醸し出す空気に感動。スコアボード真下からグラウンドを一望できる[バックスクリーンビュー]も必見!



／モアイせん／

イースター島のモアイ像に韓国のトルハルパン。さまざまなポーズや表情がほほ笑ましく、「なぜこんな石像が?」と歴史や由来に思いをはせなくなる。

／トルハルパン／



／親しみがわきます／



併設のレストラン「スワン」の一番人気は姫路のブランド豚(桃色吐息)のカツカレー。サクサクのカツがまろやかな辛さのルーとマッチ。サラダ付きで1,600円。



エジプトのピラミッドやアメリカの自由の女神像など遺跡や名所が集まる石のエリア。中でも秦始皇帝の墓を守る兵馬俑坑(へいばようこう)が圧巻! 中国現地で作成された約1,000体の兵士が整列し、一体ずつの顔や鎧が異なるのもおもしろい。坂道や階段も多いので歩きやすい靴で訪れて。

▷姫路市打越1342-6 ☎079-267-8800
午前10時～午後6時(土・日曜、祝日は午前9時から。入園は午後5時30分まで) 入園料/大人1,500円、小・中学生・75歳以上700円 不定休、荒天時休 @300台 道案内/電車→JR神戸線・山陽姫路駅から神姫バス、白鳥台3丁目下車徒歩約5分 車→山陽自動車道山陽姫路西ICから北へ約5分

7階建ての城の各部屋は絵本の世界に入り込んだような[白の部屋]、シャンデリアが輝くゴシック調の[黒の部屋]などのフотスポットやトリックアートが所狭しと。最上階の大広間では土・日曜、祝日限定でアフタヌーンティー(1人1,500円)やジェラートが味わえる。



世界旅行気分、写真旅 太陽公園

フランスの凱旋門をくぐり抜けると、アジアやヨーロッパの石像がずらりと並ぶ不思議な世界。自然豊かな峰相山(みねあいさん)山麓に広がる[太陽公園]は、甲子園球場約4個分もの敷地に、世界各国の石像遺産や建築のレプリカ3,500点以上を展示する「石のテーマパーク」。「遠方へ旅行できない人も気軽に旅気分を味わえるように」と福祉施設が整備した公園だが、なるほど写真を撮ってみると、「ここは日本?」と驚かされる写真映えの連続。[石のエリア]ではモアイ像やスフィンクスと記念撮影したり、天安門広場や万里の長城を歩いたり。ドイツの名城を再現した[城のエリア]では王座に掛けて王様気分。広大な園で1日のんびり過ごそう。



「世界で一番美しい」とされるドイツのノイシュバンシュタイン城をモデルに山の上に3分の2のスケールで建てた[白鳥城]へはモノレールで。細部まで忠実に再現された、真っ白な世界に心躍る。



日本の伝統的な作業着の割烹着をファッションとして楽しめるkapocは、国内産リネンを使用。縫製まで含めて日本製。ワンピースのように着たり、羽織ったり。全12タイプ、17,600円から。



淡路サンセットラインに沿って線香工場が並ぶ港町江井。海の側にたたずむ江井小学校は、2017年に閉校したが、大阪の服飾専門商社[増見哲]が創業者が卒業生だった縁で建物を受け継ぎ、昨年、割烹着ブランド(kapoc(カポック))やアップサイクルアイテムなどを扱うギャラリー&ショップとしてよみがえらせた。「限りある資源を大切に永く使ってほしい。製作の背景や物語が見えるような展示に」と運営スタッフの渡邊昌行さん。校舎窓から変わらない海の景色を眺めながら、想いのこもった製品に触れることで未来や暮らしを考えるきっかけに。



▷淡路市江井2622-3
☎0799-70-9129
午前10時～午後5時(カフェは午前8時～午後5時30分ラストオーダー) 無休 ①17台 道案内/電車→JR神戸線舞子駅から高速バス、江井下車徒歩約8分(本数少) 車→神戸淡路鳴門自動車道北淡ICから南西へ約20分

南あわじ市のあまつみまなみさんの藍染衣や、施設内の工房で染めたショートパンツも販売、18,700円から。濃淡の風合いがステキ。



オリジナルTシャツづくり

オリジナルTシャツを製作するスクリーンプリント体験は予約がおすすめ。好きな絵や色でつくる自分だけの服に愛着が湧く。半袖Tシャツ、大人1枚5,280円など。既存の絵柄版も使用可。



1階カフェ[ル プルミエカフェ 淡路島]のマイルドブレンド・アイス600円。モーニング(午前11時まで)の厚焼き卵サンドはプラス400円。スタッフの郷(たたぎ)さんもkapocを愛用!



≡ 線香の文化に触れる ≡



線香工場や船で出荷する人びとの息づかいを感じる昭和30年代を再現したジオラマ、15社ある江井の線香メーカーを紹介する資料館で、まちの歴史も伝える空間に。廃棄される線香と藍染めの端切れなどでつくる匂い袋など、「捨てないで工夫する」アップサイクルを体現するアイテムも。夏には藍染め体験、9月15日(日)にはファッションイベント(淡路島コレクション)を開催予定!